

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年1月22日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690500048
法人名	医療法人 親貴会
事業所名	グループホーム てね(里山)
所在地	鹿児島県いちき串木野市上名5050番地1 (電話) 0996-33-2210
自己評価作成日	平成31年1月22日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成31年2月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・H27年4月より敷地内に児童発達支援センターと就労支援施設等の障害者施設が開設し、子供達やサバイバーの方と交流を図っている。
- ・毎朝申し送り時に理念を復唱し、理念に沿ったケアが出来るように取り組んでいる。
- ・年4回のホーム便り(てね便り)発行し、地域の方や家族の方に配布を行っている。
- ・四季の行事を行ったり、年に1回、誕生日の月に本人の要望を取り入れ、家族と話し合いながら、わがままdayを実施したり生活リハを取り入れながら生きがいを見出し、今を楽しく生活できるように支援している。
- ・地域や家族、同法人内施設で協力してペットボトルキャップを収集し、ボランティア活動を行っている。
- ・地域でころばん体操があり、毎月1回ホームに来て下さりころばん体操を実施している。
- ・介護相談員事業に参加し、毎月1回入居者と話しをして頂き、サービスに関して不安や不満を聞いて頂きサービスに繋がられるように実施している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

(里山)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所の理念を各棟ごとに提示してあり、朝礼時に復唱を行い理念の共有と実践が、出来るように努めている。また、一人一人のネームの後ろにも提示してある。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に事業所として加入し地域の清掃や行事等に参加させて頂き、地域の方と交流を行っている。また、小さなボランティア活動のペットボトルキャップ集めに地域の協力を得られている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	年4回事業所が、発行しているてね便りにて事業所の取り組みや認知症の豆知識等を記載して自治会の回覧板に提供し、地域の方に、認知症の理解に繋がられるように努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、地域の方、入居者の家族等に参加して頂き現状を報告し出席者により意見や要望を出していただき、ケアの向上に活かしている。運営推進会議の議事録は誰でも閲覧できるように更室に提示してある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>事業所の運営で疑問に思ったことは、直接聞いたり電話にて確認を取っている。また地域包括センターの担当の方にも毎回運営推進会議に出て頂いて相談や情報交換をしている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>全体会議や法人内研修での定期的な勉強会に参加して、理解を深めながら身体拘束を行わないケアをしている。また、勉強会で事例を挙げて身体拘束に当たらないか確認を行っている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>法人内での研修や事業所での勉強会を行いながら、虐待防止に努めている。ケアの中で何が虐待かをスタッフが、考えながら意志向上に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>外部研修や勉強会にて学ぶ機会を通して、知識を深めながら必要に応じた支援が出来るようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>納得し契約をして頂く為、十分な説明を行なっている。その際には、疑問に思われる点が無いかを、積極的に尋ね、理解・納得を図っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族へ、てね便りや運営推進会議での意見交換、また玄関に意見書を設置し、外部からの意見を取り入れている。面会時には、ご家族より口頭で聞き、記録に残している。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月の、全体会議やフロア会議で話合いに場を設け、記録に残し、情報を共有し業務に活かしている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務表や各種届け等で、勤務状況を把握しているが、より向上心を持って働く事が出来る様に、キャリアアップの導入にて、処遇改善を実施している。個人面談等を行ない、働きやすい職場作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の経験年数や、知識に応じた研修への参加を促している。また、法人内研修や外部研修等で、スキルアップに努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>さつま半島支部の、グループホーム協議会等へ積極的に参加し、同業者との意見交換を行なっている。同市のグループホームでの勉強会や、交流に取り組んでいる。研修会等で得た知識を、毎月の全体会議の際、勉強会として他の職員とも情報を共有し、サービスの向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用申し込みの際にアセスメントを行ない、ご本人の気持ちや考えている事を受け止め、スタッフと利用者の方との関係作りに心掛けている。また、ご本人やご家族の要望・不安を知り、安心して生活して頂けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の思いや困っている事、今後の不安や要望に添えるよう心掛けている。また十分な説明をし、納得して頂くように迅速な対応や、気軽に話をして頂けるような雰囲気作りを大事にし、信頼関係の構築に取り組めるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	見学や相談時に、ご本人やご家族との会話等を通じ、情報を収集し何を一番必要とされておられるかを、把握する様努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の場であるため、個人個人の性格を考慮し、生活の中で出来る事は共にし、出来ない所は手を差し伸べて、共によい雰囲気で行われるように心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人とご家族の繋がりを、大切に出来る様に心掛けている。またご家族の出来る事は頂き、職員と一緒に関わって頂けるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	会いたい方や、行きたい場所などの希望があった場合には、積極的に支援している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の中に入り、会話やレクレーション・行事での外出を活用しながら、孤立しないようにし、利用者同士が楽しく穏やかに出来る様に、気配りをしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院の為、退所された時には、機会あるごとに面会をしたり、ご家族より話を伺ったりしながら、現状把握に努めている。また、お亡くなりになった場合には、お通夜や葬式に参列し、思い出の写真などをまとめて提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	直接ご本人に伺ったり、スタッフとの会話等で、ご本人の意向を汲み取れる様に努めている。またその情報を、スタッフ間で共有し、少しでも改善するようにしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族から伺ったり、スタッフや他利用者の方々との会話の中から、情報を汲み取ったりして、これまでの生活状況や生活歴・暮らし方の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送りの中で、個々の情報を共有している。毎朝バイタル測定をし、個人記録に記録し、確認を行い現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人とご家族の意向を確認し、医師やリハビリスタッフ、施設のスタッフ同士の意見を聞き、介護計画作成を行なっている。また、常に現状の観察を行い、問題点・課題点・状態の変化などを記録に残し、モニタリングを行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や気付いた事、行なったケアをそのまま明確に個人記録に記入し、スタッフ間で情報を共有している。また、全体会議やフロア会議で問題を出し、スタッフ同士で話し合い、工夫や改善策を介護計画に反映させ、実践している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の要望があれば、ご家族へ相談し、実行出来るように工夫している。また、個人の必要な物品購入等も、ご家族の了承を得てスタッフが行なっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事に積極的に参加し、利用者の皆様も楽しんで頂けるように、支援している。またボランティアの方々にも協力を頂き、心身機能の低下を防ぎ、安全で安心な暮らしが出来る様に努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期薬処方の際や、ご本人やご家族の希望に添って、かかりつけ医の受診支援を行っている。また他科受診については、事前にご家族へ連絡し、適切な医療が受けられるように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>利用者の、日々の状態を常に観察・把握し、体調不良の訴えやいつもと違う様子が見られた場合には、速やかに病院へ連絡し、指示を仰いでいる。またその際には、看護師と連携を図り、適切な看護や受診が受けられるように努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院に入退院の際は、サマリーなどで、病院関係者との情報交換や相談等を行い適切な関係作りに努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期について、早い段階から本人や家族へここで行えるケアの説明を行いいながら、本人の希望する事柄を取り入れ、方針を共有出来るようにつとめている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急マニュアルを作成しいつでも開示出来るようにしている。また、実践力を向上するために勉強会を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の方や消防の方の協力にて避難訓練を年2回実施し、そのうちの1回は、地域の方々やご家族の方々の協力を得ながら、炊き出し訓練を行なっている。また原発事故に備えた避難場所などチェックも行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の人格を尊厳して希望に添えるように対応しプライドを損ねないように言葉掛けも工夫している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の気持ちに寄り添い、自己決定や希望を焦らずに笑顔で話をきき表せるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の意見を聞きながら、希望に添うように支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	朝・夜の更衣時本人の希望に添った洋服を選んでもらっている。また入浴時も着たい服を選択して頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の後かたづけ、入居者の方と一緒に出来る所は行ってもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者一人ひとりの飲み物や食べる量を把握したら嚥下状態に合わせて食事提供している。一日を通して水分摂取量が行える様に支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後見守りを行い、うがい・義歯洗浄をしてもらっている。不十分な時は、スタッフが仕上げと磨きを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者一人ひとりの排泄チェック表を活用しながら排泄介助を行っている。一人ひとり排泄パターンを確認しトイレ誘導を行い排泄の失敗を防いでいる。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人ひとりの排泄チェック表を確認し便秘傾向の見られる入居者には、飲食の工夫を取り入れて対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人ひとりの体調の確認を行い入居者へ入浴の声掛けを行っている。入居者一人ひとりの好みの温度を把握してゆっくりゆったりと気持ち良く入浴してもらっている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中帯で洗濯物たたみ等の生活リハビリを取り入れて生活のメリハリを付けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者の薬の処方箋ファイルに綴り副作用や注意する飲食物等スタッフがいつでも見れるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の方々に喜んで頂けるように考え、洗濯物畳みや新聞畳・お盆拭き等の生活リハビリをして頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	スタッフと共に、季節に応じた行事や外食等（ピクニック・花見・そうめん流し等）を取り入れられている。また、地域の行事にも、参加出来る様に支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居時に、生活に必要な金銭を預かり、いつでも対応出来る様に、金銭管理を行なっている。毎月の訪問販売（パンの販売）を、楽しませている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話を希望された際には、必要に応じて代行し、スタッフよりご家族に説明を行い、会話出来る様に支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居心地良く過ごして頂けるように、空調や電灯等に配慮している。また、音・光・色等で不快を招く事が無い様に、工夫をしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人ひとりがゆっくりと過ごせるように、ソファ等を配置し、各々がストレスを感じないように工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の移り変わりを感じられるように、夏冬の衣替えを行なっている。なるべく使い慣れた物を使って頂けるように、心掛けている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	状態に合わせ、家具等の配置を行なっている。転倒や事故の発生が無い様に工夫を行ない、自立した生活が送れるように、環境整備を図っている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない